

みなみあいづ

議会だより

第42号

平成28年10月26日



- 9月定例会・・・・・・・・・・・・・2頁
平成27年度の決算・議案審議
- 第3回臨時会・・・・・・・・・・・・・8頁
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・9頁
10人の議員が町政を問う

火遊びは絶対にしません！

火災予防パレード

(暁の星幼稚園・田島保育園)

平成27年度の 決算を認定

平成28年第3回定例会が、9月9日から16日までの8日間の会期で開催され、町から条例改正2件、平成27年度決算認定8件、平成28年度補正予算7件、その他の議案や報告など8件が提出されました。

また、議会から委員会提出議案1件が提出され、慎重な審議が行われました。

決算のあらまし

【歳入】

消費税増税で地方消費税交付金が63・8%増になったほか、自動車取得税交付金が41・6%、災害復旧などに対する地方債の発行で町債が26・6%増加しました。

一方で、利子割交付金が20・3%、配当割交付金が28・1%減少、さらに前年度の高額寄付の影響から寄付金が54・6%減少しました。

【歳出】

性質別にみると、投資的経費では、新庁舎や伊南保育所の建設、さらに関東・東北豪雨災害復旧事業もあり、全体で16・0%増加しました。

一方で、経常経費では、除雪経費の大幅減で維持補修費が37・8%減少、さらに義務的経費では人件費などの減により、全体で0・2%減少しました。

【利子割交付金】

金融機関などからの利子の支払いを受ける際に取められた税を財源とする交付金

【配当割交付金】

株式などの配当を受ける際に取められた税を財源とする交付金

【投資的経費】

支出の効果が資本形成に向けられ、将来に残る施設建設などに充てる経費

【義務的経費】

支出が制度的に義務つけられている経費（人件費・扶助費・公債費）

【経常経費】

毎年決まって支出される経費（維持補修費・物件費など）



決算審査の意見

自主財源である町税などの未納額が依然発生していますが、前年度と比較すると減少しています。

また、国民健康保険税の未納額も、前年度と比較すると減少しており、税務担当職員の真摯な取り組みの成果であると評価できます。

一方で、水道事業会計を含めた使用料などの未納額は、前年度と比較すると増加しているため、町税滞納対策の取り組みに学び、滞納解消に向けて一層の努力が必要です。

平成27年度の財政指数は、健全財政に向けた改善のあとが見られ



木下光廣 代表監査委員

ますが、今後も普通交付税など一般財源の減少や人口減少で、財政の見通しがますます厳しくなることから、行財政改革のさらなる推進が必要です。

限られた財源の効率的・効果的な活用を念頭に置き、町民の立場に立った安全で安心して暮らせる町の実現に向け、第2次南会津町振興計画の目標達成に向かって努力されることを期待します。

平成27年度 一般会計決算

歳入総額
152億6,637万円
歳出総額
145億3,736万円

1000分の1に
置き換えてみると・・・

町の家計簿

— 収 入 —		— 支 出 —	
(前年度との対比額)		(前年度との対比額)	
給料 【町税】	157万円 (▲2万円)	食費 【人件費】	200万円 (▲8万円)
パート収入 【負担金・使用料・手数料など】	17万円 (2万円)	光熱水費・日用品の購入 【物件費・補助費等】	389万円 (27万円)
親からの仕送り 【地方交付税・国県支出金など】	1,029万円 (42万円)	養育費・医療費など 【扶助費】	89万円 (▲3万円)
ローンの借り入れ 【町債】	191万円 (40万円)	車の修理代など 【維持補修費】	49万円 (▲30万円)
その他の収入・貯金引出 【寄附金・繰入金・繰越金・諸収入】	129万円 (▲13万円)	子どもへの仕送り 【他会計への繰出金】	126万円 (8万円)
不動産収入 【財産収入】	4万円 (同額)	貯金 【積立金】	91万円 (2万円)
1年間の収入合計	1,527万円 (69万円)	生命保険など 【投資・出資・貸付金】	8万円 (▲4万円)
		家屋の増改築など 【普通建設事業費】	241万円 (▲35万円)
		被害箇所の修理 【災害復旧事業費】	92万円 (82万円)
		ローンの返済 【公債費】	169万円 (9万円)
		1年間の支出合計	1,454万円 (48万円)
貯金残高は 794万円 (37万円)		ローンの返済残高は 2,182万円 (15万円)	

※貯金残高およびローンの返済残高には、特別会計を含んでいます。

町の家計は大丈夫？

前年度と比較して、収入が4.7%、支出が3.4%増加しました。支出では、被害箇所修理で出費が増えたものの、家屋の増改築（学校耐震や土地区画整理）などの事業量が減ったことで支出が抑えられました。

収入では、町が自由に使える財源「給料（町税）」が若干減少し、全体の10.3%となっています。一方で、「親からの仕送り（地方交付税・国県支出金など）」は、全体の67.4%を占めています。

町の家計をみると、まだまだ親からの仕送りがないと成り立たない状況ですが、それでも堅実なやりくり（行財政運営）がされて、少しずつ状況は改善しています。

また、計画的にローンを返済しながら、着実に貯金を積み立てして残高を増やしていることは、良い傾向といえます。

親からの仕送りに頼らない自律的な家計を保つためにも、第一次産業の活性化や企業誘致などで町民所得の向上に取り組むことが必要です。

平成27年度特別会計の決算額

会計名		歳入	歳出	差引
国民健康保険		23億8,503万円	23億3,920万円	4,583万円
後期高齢者医療		2億1,160万円	2億1,082万円	79万円
介護保険		19億7,753万円	19億5,754万円	1,998万円
農林業集落排水事業		1億6,841万円	1億6,570万円	271万円
公共下水道事業		3億9,054万円	3億7,649万円	1,405万円
簡易水道事業		5億9,773万円	5億9,292万円	481万円
企業会計		収入	支出	差引
水道事業会計	収益的収支	1億5,211万円	1億4,325万円	886万円
	資本的収支	4,680万円	1億2,391万円	▲7,711万円

※各会計で1万円未満を四捨五入しているため、差引きが一致しない場合があります。

主な財政指数

項目	平成27年度	平成26年度	解説
財政力指数 (3力年平均)	0.233	0.231	町の仕事に必要な経費をどのくらい自力で賄えるかを表す数値で、「1」に近いほど財政力が高い。
標準財政規模	91億6,719万円	89億5,607万円	町の標準的仕事に必要な経費の額
経常収支比率	83.9	84.1	町税や地方交付税などの収入が、経常的な支出（給与・借金返済など）にどのくらい使われたかを示す数値で、小さいほど自由に使えるお金が多い。
実質公債費比率 (3力年平均)	6.1	7.0	標準財政規模に対する借金返済の割合で、18%を超えると、新たに借金をするときに許可が必要になるなど制限が付く。
将来負担比率	16.1	16.6	将来負担しなければならない借金などが、標準財政規模に対してどのくらいあるかを表す数値

年度別各種税金・使用料等未納累計額

年度	町税	国民健康保険税	保育料	町営住宅使用料	介護保険料	後期高齢者医療保険料	農林業集落排水使用料	公共下水道使用料等	簡易水道使用料	水道使用料等
25	1億8,802万円	1億5,063万円	628万円	2,485万円	1,075万円	243万円	833万円	1,303万円	4,758万円	2,944万円
26	1億8,397万円	1億3,511万円	561万円	2,686万円	1,153万円	220万円	827万円	1,319万円	5,074万円	3,127万円
27	1億7,813万円	1億2,399万円	459万円	2,661万円	1,229万円	273万円	891万円	1,335万円	5,294万円	3,271万円

平成27年度各種会計決算

有価証券を審査対象に

貝田美郎 議員

各種会計歳入歳出決算並びに基金運用状況の審査意見で、「公益財団法人尾瀬保護財団に対する出損金があるが、証書等の確認資料が保管されていない」と記されています。その理由は。

貝田美郎 議員

出損金は、寄付金に近いものと認識していません。平成27年度中の増減はありませんが、常に決算審査の対象とすべきでは。

木下代表監査委員

木下代表監査委員
今回の決算審査で、合併後初めて有価証券などの「現物」の有無を審査したところ、当該出損金の資料が確認できなかったため、指摘しました。その後、同財団では出損証書などを発行していないことが確認されています。

徴収計画の作成状況は

貝田美郎 議員

決算審査の意見では、各種会計の徴収事務に対して「未納者の状況を十分把握して徴収計画書を作成し、滞納解消に努めること」と記されています。

また、本定例会初日の代表監査委員の発言では、水道事業会計決算のみ、この意見を述べています。昨年も記されていた意見ですが、徴収計画書の作成状況は。

貝田美郎 議員

決算審査の結果、毎年このような意見がある以上は、徴収計画書を整備して議会へも公表すべきです。町の考えは。

町長

情報公開は町の基本姿勢です。必要と判断すれば随時公開していきます。

ゴルフ場の有効利用を

楠 正次 議員

たかつえカントリークラブの利用者数1万708人の内訳は。

館岩総合支所長

郡内4590人、郡外6118人です。

楠 正次 議員

有酸素運動と脳の活性化が、認知症の予防に有効だと言われています。ゴルフ競技は、その両方を備えているので、福祉面での有効利用も考えるべきでは。

副町長

同クラブは、グラウンドゴルフをはじめ、食堂や温泉施設を一般開放しています。今後は、福祉面での利用も視野にいたれた運営を、指定管理者と協議します。

環境水道課長

現在課内で滞納整理のマニュアル化や、滞納者と接触したときの報告書を作成し、情報共有に取り組んでいます。



グラウンドゴルフを楽しむ利用者
(たかつえカントリークラブ)

平成27年度各種会計決算

危険空き家の撤去は

大桃英樹議員

全国的に問題を抱える空き家対策ですが、町の取り組みは一定の成果があったと認識しています。

一方で、びわのかげ総合運動公園ソフトボール場に隣接する火災にあった空き家は、依然として危険なまま放置されています。

撤去などに該当する手段の有無は。

副町長

当該建物の土地所有者は町なので、土地所有者として未使用である建物の撤去を働きかけています。

しかし、建物所有者にとつては、競売による取得で少なからず投資をしていることから、撤去への同意が得られていません。

今後も、さまざまな視点から解決策を検討します。

閉鎖施設の看板撤去を

山内 政議員

窓明の湯新築基本構想は、住民懇談会を開催するなど地域の意見が反映された構想だと感じています。

しかし、施設が閉鎖している現状でも、関係する看板が設置されていますが、撤去などの方針は。

伊南総合支所長

新たな温泉施設の建設に合わせて、既存の看板の撤去や書き換え、さらには新設を検討します。

公表内容の統一を

山内 政議員

町のビューポイントを館岩地域と南郷地域の2カ所に設置し、それぞれに地域の指定管理者で運営されています。

南郷地域ビューポイントの利用者数が明記されていませんが、公表内容を統一すべきです。

南郷総合支所長

今後は、記載内容を統一して公表します。

空き家除却補助の実績は

室井嘉吉議員

空き家対策事業費の内訳は。

総合政策課長

下表のとおりです。

室井嘉吉議員

除却補助を実施した地域の内訳は。

総合政策課長

田島2件、館岩3件、伊南3件、南郷1件の、合計9件です。

空き家対策事業費の内訳

区分	金額
台帳管理システム整備	367万2千円
除却補助	487万3千円
登録作業・図面作成委託料	128万3千円



書き換えが検討されている窓明の湯の案内看板

国へ意見書を提出

採択 地方財政の充実・強化を求める意見書

平成28年第2回定例会（6月10日）に提出された「地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願（請願者：自治労南会津町職員労働組合執行委員長 塩生敬洋氏）」は総務委員会に付託され、会期中に紹介議員や町財政担当職員から聞き取りをする一方で、本年度から導入された「トップランナー方式*1」で、本町の地方交付税算定の変化を審査するため、継続審査になりました。

閉会中も委員会を開催して調査した結果、本年度の地方交付税算定への影響は13事業で約2千万円減額となり、次年度以降も対象事業が拡大されます。

このことから、8月4日の委員会で慎重に審査した結果、「トップランナー方式」による改革は地方交付税制度の根幹を揺るがすものであり、全会一致で「採択すべきもの」と決定し、楠正次委員長から審査の経過と結果が報告されました。

審議の結果、全会一致で採択され、国に意見書が提出されました。

用語 トップランナー方式

民間委託などでコストを削減している地方自治体の経費水準を標準的なものとして、普通交付税算定における単位費用の積算に反映させるもの

要望への対応を

平成28年度一般会計補正予算

星登志一 議員

藤生区から富貴沢橋 拡幅工事の要望書が提出されました。予備費を充当し、まずは測量だけでも実施すべきでは。

町長

本件のみならず、対応が必要な事業が多くあります。また、近年の災害で緊急を要する事業が増えています。



藤生区内「富貴沢橋」現地調査の様子（9月13日：産業建設委員会）

さまざまな状況を考慮し、地域住民との対話も踏まえながら対応します。

第3回臨時会

平成28年8月4日

冬期間の安全・安心な交通確保のため、購入後18年が経過し、老朽化している除雪車両1台の更新と、新規に1台購入するための議案1件（物品購入契約）が提出され、慎重な審議が行われました。

計画と違う理由は

貝田美郎 議員

当初予算では、除雪車両を3台購入する計画でした。今回は2台購入する契約ですが、残り1台の取り扱いは。

高野精一 議員

更新と新規で1台ずつですが、更新対象車両の処分方法は。

建設課長

財源となる交付金が2台分で決定したので、残り1台は平成29年度で対応します。

建設課長

売却などの処分はせずに、今後は公共施設などの除雪で利活用します。

貝田美郎 議員

交付金のほか、財源の内訳は。

楠 正次 議員

入札では、指名7社のうち6社が辞退しています。その理由は。

建設課長

交付金が3分の2、残り3分の1は起債と一般財源です。

建設課長

「納期が間に合わない」と「会社の都合による」が、3社ずつです。

平成28年9月定例会の一般質問が、14日と15日の2日間にわたり行われ、通告した10人の議員が登壇し、町の対応や考え方などを問いました。

登壇順序・質問項目

- 1 **高野 精一 議員** 10分
①消えた条例について
②除雪作業について
③風評被害について
- 2 **楠 正次 議員** 11分
①第3セクターと町の関わりについて
②発達障がい児支援について
③小学校の統廃合について
- 3 **丸山 陽子 議員** 12分
①「赤ちゃんの駅」の設置について
②家庭照明のLED化支援について
- 4 **湯田 哲 議員** 13分
①県教育委員会の宇宙教育への本町の取り組みは
②天文台による宇宙教育と観光振興を
- 5 **森 秀一 議員** 14分
①南郷スキー場第2ゲレンデに通じる町道の改良整備について
②ふくしま駅伝の応援体制について
- 6 **星 登志一 議員** 15分
①東武鉄道SL運転計画と会津田島駅SL展示車活用
②会津縦貫南道路の景観と活用
③乾杯条例の今後の推進計画
④基金の現状と運用計画
- 7 **山内 政 議員** 16分
①町補助金の不正支出未遂について
- 8 **室井 英雄 議員** 17分
①貧困世帯について
- 9 **渡部 訓正 議員** 18分
①新型特急の会津田島駅乗り入れについて
②木質バイオマス燃料の普及について
- 10 **室井 嘉吉 議員** 19分
①町民の歌の扱いについて
②町の宣伝看板などの設置場所について
③新規林業従事者について

一般質問

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたり執行機関に問題点をただし、所信の表明を求めて政治姿勢を明らかにするものです。



地域で雪捨て場の確保を

町長＝地域と一帯で除雪体制を構築

問

町の除雪作業により、冬期間の町民の安全・安心が確保されています。除雪にあたっては、それぞれの地域で雪捨て場の確保のために、責任をもって対処していただくことが必要だと思います。

町長

除雪作業の効率を上げるためには、雪捨て場の確保は重要です。これまで、町や委託事業者が直接地域に向いて雪捨て場の確保に取り組んできましたが、宅地造成など土地利用の変化により、年々その確保が困難になっています。除雪事業は地域の理解と協力が不可欠であり、引き続き地域と一体となった除雪体制の構築に努めます。

風評被害の克服を

町長＝産地の形成に取り組む

問

農業の風評被害を克服するため、前へ進む農業やブランド化に取り組む考えは。

町長

依然、風評被害は払拭されない状況です。特に、県産農産物の安心と安全性が強く求められているので、モニタリング検査や食の安全性をPRするとともに、農業の体制強化やブランドづくりを進めます。

地域安全条例の廃止理由は

町長＝合併協議会で廃止を決定

問

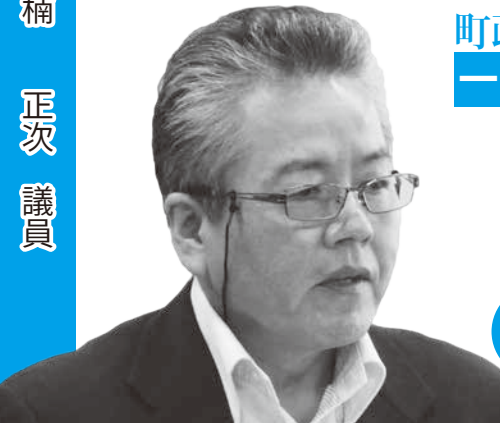
合併前の旧4町村では、地域安全条例が制定されていましたが、廃止された理由は。

町長

この条例で組織する「町村生活安全推進協議会」に類似する団体が、すでにその目的とする活動に取り組んでいました。そのため合併協議会では、「本条例を継続せずに廃止する」とし、防犯協会や交通安全対策協議会などに、その活動を委ねることにしました。



農産物の放射性物質を検査して風評被害の払拭に取り組む
(写真は園芸品目の放射性物質簡易分析装置)



会津高原リゾート(株)の債務解消は

町長＝最善の改善策を検討

問

会津高原リゾート(株)は、新規就農者をはじめ冬期間の雇用の場として重要な位置づけです。固定資産税や町所有施設貸付料などの収入金額は。

町長

平成27年度の町税と、町有建物および土地貸付料は、合計で1756万3千円です。

問

「さいたま市立館岩少年自然の家」のスキー指導員を含めた、冬期間の雇用者数は。

町長

「自然の家スキー教室」に登録している指導員は71人です。なお、その指導員を含めた、会津高原リゾート(株)の冬期雇用者数は311人です。

問

長期債務を含めた債務解消の考えと解決策は。

町長

現在、債務に対する町の関わりや、公費を支出した場合の財政への影響など、さまざまな問題を考慮して債務解消の可能性と改善策を検討しています。法的な規制も十分考慮したうえで検討する必要があります。具体的な説明はできません。

教育長

現状維持と考えています。今後は、子どもたちにより良い環境の整備を第一に考え、地域の実情などを聞きながら、配置を検討します。

本町の小学校配置の考えは

教育長＝現段階では現状維持

問

小学生の通学時間と距離が児童に与える影響(ストレス)は大きいと思います。本町の学校配置に対する考えは。

問

平成34年度の、児童数の減少見込みは。

教育長

左表のとおりです。

問

小学生の通学に係る時間と距離の限界値は。

教育長

適正規模の条件として、距離はおおむね4キロ以内と定められています。

なお、時間の明記はありませんが、交通手段を問わず、おおむね1時間以内と認識しています。

その他の質問
・発達障がい児支援について

町立小学校児童数の推移

学校名	平成28年度 (9月8日現在)	平成34年度 (見込み)	増減
田島	273人	224人	▲49人
田島第二	103人	79人	▲24人
桧沢	46人	37人	▲9人
荒海	107人	71人	▲36人
館岩	50人	38人	▲12人
伊南	58人	35人	▲23人
南郷	73人	83人	10人



『赤ちゃんの駅』の設置を

町長＝認知度を見極めて検討

問

乳幼児を連れての方が、おむつ替えや授乳に安心して気軽に立ち寄ることが出来る施設として、「赤ちゃんの駅」を設置する考えは。

町長

町の多くの公共施設に、おむつ替えができるベビーベットを設置しており、「会津田島祇園会館」では、おむつ替えと授乳スペースが確保されています。

今後、これらの情報を町のホームページへ掲載し、町民をはじめ観光客にも周知していきます。

なお、「赤ちゃんの駅」としての指定は、その認知度を見極めながら検討します。



会津田島祇園会館内のおむつ替え(手前)と授乳(奥)スペース

家庭照明のLED化支援を

町長＝現段階で実施する考えはない

問

家庭用照明の省エネルギー化を進めるため、LED化に取り組む町民に対する助成制度を創設する考えは。

町長

家庭の消費電力量の15%を占める照明機器をLEDに切り替えることは、重要なエネルギー対策だと認識しています。

しかし、家庭向けLED照明器具は、海外メーカーの参入などで低価格化が進んでいることから、個人住宅に対する補助制度の必要性は感じていません。町としては、公共施設照明のLED化など、まずは町民が広く活用できる施策に取り組みます。



本格的な天文台の建設を

町長＝関係機関と慎重に議論

問

全国からの観光客や修学旅行の多くの子どもたちが、自分の目で見る宇宙の神秘や感動体験プログラムが、宇宙教育と観光振興に大きな役割を担っています。

本町にも大型望遠鏡を備えた本格的な天文台を建設するべきでは。

町長

通年型観光施設の乏しい本町にとって、新しい観光スポットが誕生すれば、交流人口の拡大につながると認識しています。

しかし、その天文台で「どのような観光誘客を進め、教育旅行などに生かしていくのか」や「その役割を誰が担うのか」など、地域を巻き込んだ観光誘客の仕組みづくりも必要です。

針生天文台の利活用なども参考にしながら、観光物産協会などの関係団体と慎重に議論します。



針生天文台の天体望遠鏡設備

宇宙教育への取り組みは

教育長＝地域の有識者と連携

問

平成28年3月25日、県教育

委員会は、宇宙開発や天文学などを学ぶ「宇宙教育」の充実を目指し、宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙教育センターと連携協定を結びました。

それに基づき、同年5月22日に「宇宙教育フォーラム・研修会」が開催されましたが、本町教職員の参加の有無は。また、宇宙教育への取り組みは。

教育長

本町教職員

の参加はありませんでした。広大な宇宙の謎や宇宙への探求心は、子どもたちの好奇心や冒険心をかきたてる素晴らしい体験だと認識しています。

宇宙教育は、星空観察や宇宙に関する専門的な学び、さらに施設見学などの社会教育面で取り組むことで、ふるさとの自然や人材の素晴らしさを知ることが期待できます。今後は、地域の有識者と連携しながら取り組みます。



第2ゲレンデに通じる町道整備を

町長＝アクセス方法を検討

問

南郷スキー場第2ゲレンデにある、ひめさゆり観賞地への町道は急傾斜地で、急勾配のヘアピンカーブがあります。通行者が好感を持って観賞していただくために、町道の改良整備をすべきでは。

町長

ひめさゆりの咲くゲレンデまで、送迎シャトルバスを運行したところ通行に支障があり、本路線の改良整備の必要性を認識しました。

夏季シーズンのゲレンデ利用に、ひめさゆりを積極的に活用していく方針であり、さらなる誘客と利用者の安全確保のため、当面は急勾配箇所解消に取り組みます。

今後は、ゲレンデ利用を考えるなかで、アクセス方法を検討します。

問

選手は南会津町の代表であり、16区間を力走する全ての選手を応援すべきと考えます。

応援者募集の方法と応援体制は。

教育長

広報紙などを通じて募集はしていませんが、町議会議員やスポーツ推進委員などの関係者で応援団を組織し、16区間全てで選手に声援を送れる体制を整えています。

ふくしま駅伝の応援体制は

教育長＝16区間全てを応援



ふくしま駅伝スタート後のようす
「しらかわかタールススポーツパーク（白河市総合運動公園）」



東武線から会津線へSL乗り入れを

町長＝電車の2倍の重量で走行が困難

問

平成29年8月、下今市から鬼怒川温泉までSLが運行されます。会津線への乗り入れ計画は。

町長

途中の野岩線沿線は、トンネルが長く排煙設備が必要です。また、SLの重量が電車の2倍であり、走行が困難な状況です。

問

会津田島駅に展示されているSLの反響と、今後の活用計画は。

町長

SLを運行するには、鉄道設備や維持管理に膨大な費用がかかるので、引き続き展示しながら観光誘客に活用します。

会津縦貫南道路の騒音対策は

町長＝設計段階から配慮されると認識

問

国道121号線は、夜間でも多くの大型トラックが通行しています。会津縦貫南道路の整備で、さらなる増加が想定されますが、平地の騒音対策は。

町長

自然環境や生活環境の事前調査により、設計段階から配慮されるものと認識しています。

問

県道黒磯田島線との関係性は。

町長

この県道は、栃木県や茨城県も含めた広域的な道路ネットワークの構築が可能な路線です。

問

条例の制定から3年を迎えますが、その効果は。

町長

「地酒で乾杯プロジェクト実行委員会」などの活動で消費も伸び、蔵元を支える力やまちなかの賑わいを取り戻すきっかけになっていきます。

問

米価の低迷に備えて酒米の増産を掲げていますが、その効果と今後の推進計画は。

その他の質問

・基金の現状と運用計画

乾杯条例の効果は

町長＝まちなか賑わいのきっかけに

町長

酒米の作付けは、平成27年度は64％、平成28年度は68％を予定し、年々増えています。酒米の提供は極めて有効であり、地産外消にも努めます。



全国一斉日本酒で乾杯オープニングセレモニー（10月1日）



なぜ架空の代表者に補助金申請書類が

町長＝電話連絡を信用し確認を怠った

問

平成28年度南会津町交通対策協議会伊南支部の補助金申請書が、支部長でない人あてに届いた理由は。

町長

本年4月13日、同支部

長を名乗る人から担当職員に「今回、支部長が代わった。送付された総会資料は新支部長に届けておくので、次回から伊南支部に関する書類は、全て新支部長に送ってください」との電話があり、同時に新支部長の住所も伝えられました。

担当職員は、電話の内容を係長に報告して相談したところ、支部長の氏名を名乗り、同協議会総会の欠席者のみに送付した資料の存在を知っていたこと、また、同支部役員の任期が同年3月末で満了することから電話の内

容を信用し、新支部長と伝えられた人あてに関係書類を郵送しました。

問

確認は。

伊南総合支所の担当者への

町長

交代の確認はしていません。なお、この書類を受け取った人からは「私は支部長になっていないし、交通関係の役員にも就いていない」との連絡を同年4月27日に受けたので、同月13日の電話の内容を担当職員が説明して謝罪しました。

また、この後すぐに支部長から、支部長でない人に関係書類を送付した経緯の問い合わせがありましたので、担当職員が同様の内容を説明し、謝罪しました。

問

架空の申請者などに対する再発防止策は。

町長

本件は、電話の内容を信用し、事実確認を怠ったことが原因です。今後は、関係者への確認と書面による届出で対応します。

問

同協議会伊南支部との関係修復は。

町長

補助金を受け取っていただけるとの対応していきます。



伊南地域交通安全鼓笛パレードのようす（9月15日）



町政を問う 一般質問

貧困世帯への子育て支援策は

町長＝教育経費に関わる各種支援を実施

問

厚生労働省が2014年7

月にまとめた「国民生活基礎調査」によると、貧困率は16・1%と過去最悪で、日本人の6人に1人が貧困層と言われています。

また、生活意識として「苦しい」と答えた世帯が約6割を占め、親から子への貧困連鎖が心配されています。本町の貧困世帯数とその割合は。

町長

国民生活基礎調査は抽出調査であり、自治体ごとの調査データを収集していないので、全国・全県の推計は可能ですが、本町の数字を示すことはできません。

なお、本町の生活困窮の実態として示せるものは生活保護世帯と保護人数であり、平成27年度末現在で83世帯99人です。

問

子どもを抱える貧困世帯に対する町の支援策は。

町長

小中学校では、要保護・

準要保護児童生徒および特別支援児童生徒援助事業として、学童用品・修学旅行費・学校給食費のほか、教育に関わる各種費用を助成しています。

問

貧困世帯に対する「^{※3}無料低額診療制度」がありますが、南会津地方でこの制度は該当しますか。

町長

県内では11医療機関が

指定を受けており、会津地方では会津中央病院が唯一指定を受けています。

用語

※1 ひとり親家庭医療費助成制度

18歳未満の児童を監護している配偶者のない父親または母親とその児童、および父母のいない児童の医療費を助成する制度
1世帯で同一受診月毎に、医療機関の窓口で支払った自己負担額のうち千円を超えた金額を給付

用語

※2 子育てスマイル支援事業

町に住所を有し、平成27年4月1日以降生まれた新生児を養育し、生計が同一である保護者で、町に対する支払義務のあるもの全てに滞納がない世帯に属する場合に、商品券を交付
第1子10万円、第2子20万円、第3子以降30万円

用語

※3 無料低額診療制度

「低所得者」「要保護者」「ホームレス」「DV被害者」「人身取引被害者」などの生活困難者を対象に、無料または低額料金で診察する制度



新型特急乗り入れへの取り組みは

町長＝散策コースの設定や二次交通対策を検討

問

新型特急乗り入れまで半年となりました。終着駅となる会津田島駅を起点とした散策ルートなどの取り組みや、首都圏へのPRなどの働きかけは。

町長

先に開催された「全国町並みゼミ大内・前沢大会」では、まちの案内人の協力により約2時間の散策ルートを設定しました。

また、来春の「南山の桜と歴史めぐりウォーク」では、歴史や文化に特化した散策コースを計画しています。

さらに二次交通対策として、観光地巡りの循環バスやタクシーの運行を計画しながら誘客準備を進めています。

これらの取り組みは、首都圏での観光誘客キャンペーンや、SNSなどで情報を発信します。



全国町並みゼミ大内・前沢大会「町並み見学会」のようす（9月10日）

木質バイオマス事業の普及を

町長＝森林整備と自然エネルギーの活用で継続

問

町の森林面積は90%を超えており、本町の循環型社会の形成には、木質バイオマス燃料の普及が重要な課題です。

引き続き、普及を推進することが必要と考えますが、木質バイオマスの現状と方針は。

町長

町では、木質バイオマスポイラーを「きさら289」と「会津アストリアホテル」の2箇所を導入しています。稼働しているのは「きさら289」のみです。

年間を通して稼働するための原木必要量は、きさら289で360m³、会津アストリアホテルで3000m³を見込んでいますが、現在は「きさら289」のみに燃料チップが供給されている状況です。

本町の木質バイオマス事業は、森林整備と自然エネルギーの活用という2つの基本方針であり、化石燃料の価格に左右されることなく、持続可能な施策を進めます。



町政を問う
一般質問

新規林業従事者の雇用状況は

町長＝森林組合で11人、林産業者で3人を新規雇用

問

町の地方創生計画では、基盤産業である林業の雇用力が極めて低いと分析しています。

そのため、平成27年度から平成31年度の5カ年計画で、新規林業従事者15人の雇用を目標に取り組んでいます。が、現状と問題点は。

町長

森林組合では、間伐材等搬出促進事業で1人、グリーンワーカー育成事業で10人を新たに通年雇用しました。また、町内の林産業者3社が林産業人材育成支援事業を活用し、それぞれ1人を通年雇用しています。

なお、森林整備の仕事は主に夏場であり、通年で仕事をするためには、冬期間の仕事の確保が必要です。

町民の歌を「制定」扱いに

町長＝平成28年3月19日を制定日に

問

町民憲章や町章、そして町の花・木・鳥を「制定」して例規集に搭載していますが、町民の歌「春夏秋冬」も同様に扱うべきでは。

町長

町民の歌を披露した、合併10周年記念式典の開催日(本年3月19日)を制定日とし、例規集に搭載する手続きを進めます。

新庁舎に宣言看板の設置を

町長＝外構工事で検討

問

合併前の旧町村では数々の宣言がされ、それらの看板を設置しながら町民にアピールしてきました。

町長

合併協議会で「各種宣言は新町で必要に応じて宣言する」とされ、現在宣言しているのは「非核平和の町」のみです。

新庁舎の建設に合わせて、宣言看板を掲げるスペースを確保すべきでは。

新たな宣言は、今後も庁内で検討するとともに、看板の設置場所は新庁舎の外構工事に合わせて検討します。



合併10周年記念式典で町民の歌「春夏秋冬」を披露

議会報告会を開催（第69回） — 町民と共に歩む議会であるために —

戸中区・松戸原区・押戸区・吉高区・福渡区

日 時	8月25日（木） 午後7時00分から
会 場	館岩会館
参 加 者	区長ほか14名
出席議員	楠 正次・菅家 幸弘・森 秀一 渡部 訓正・高野 精一
質 疑 事 項	①「駒の茶屋」の廃止後は ② 議員定数と議員報酬に関する特別委員会での検討内容は
要望・意見	① 国道352号線（福渡地内）の整備計画は ② 会津高原リゾート(株)従業員の処遇改善を ③ 町内測量会社の育成を



視 察 来 庁

9月20日、「みなみあいづ議会だより」の編集方法などを視察研修するために、宮城県川崎町議会の議会広聴・広報委員会が来庁され、より良い議会広報の紙面づくりに向けた意見交換が行われました。
私たち議会広報委員会も多くの刺激を受け、充実した視察受入れになりました。



議会広報委員会

委員長	星 光久
副委員長	森 秀一
委員	貝田 美郎
	丸山 陽子
	室井 英雄
	室井 嘉吉

議 会 を 傍 聴 し て み ま せ ん か

議会を傍聴する手続きは簡単です。
本庁3階の議場傍聴席入り口で住所と氏名を書くだけです。
傍聴席では、提出された議案も閲覧できます。

平成28年第4回定例会

12月9日(金)開会予定

【発行】福島県南会津町議会 【編集】議会広報委員会 【印刷】馬場印刷所

〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲3531-1 TEL：0241-62-6310 FAX：0241-62-1288

【ホームページ】<http://www.minamiaizu.org/gikai/>